

次年度の年間行事について

～ポストコロナにおける新しい常態（ニューノーマル）「学校の新しい生活様式」に向けて～

日頃より本校の教育活動におきまして、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、6月より学校が再開され、「学校の新しい生活様式」に基づいた教育活動を進めてまいりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う甚大な影響は、広範で長期にわたるため、感染収束後の「ポストコロナ」の世界は、新たな世界、いわゆる「ニューノーマル」に移行していくことが求められます。

①「学び」の保障

②「安全・安心・安定」の保障

③「機会」の保障

本校では、この「3つ」の保障を確実にこなしていきます。

七飯町教育委員会でも、「ポストコロナにおける新しい常態(ニューノーマル)において、子どもたちの「学び」を保障するため、しなやかな学校経営(レジリエンス)による持続可能な学校教育(SDGs)」と、令和3(2021)年度以降の目標を定めています。

本校の重点教育目標「わかる・できる・つかえる」子どもの育成を目指すうえで、子どもを中心に置き、学校行事について、「何のために、何を、どのように」実施していくのかについて、職員で検討を重ね、方向性を共有してきました。

今年度同様、「安全・安心・安定」をしっかりと保障すること、さらにそれを実現するために「機会」を保障することで、より「学び」の充実を図っていかねばいけません。

そのため、感染リスクはゼロにすることはできないという事実を前提として、本校では、子どもたちの健やかな学びを保証していくことを第一に、「学校の新しい生活様式」を踏まえ、感染のリスクを可能な限り低減した「新たな学校行事」につくり直すことといたしました。

保護者の皆様の思いとして、学校行事を実施しても大丈夫なのかという「不安感」とともに、実施してほしいという「期待感」が学校評価保護者アンケートから分かりました。また、「学校行事がないから、学校の様子が分からない」という事実も見えてきました。

「学校行事」における様々な体験は、他の学習では簡単には得られないもので、子どもの心を育て、自分の生き方についての考えを深めます。また、学級や学年、全校の集団を育て、よりよい人間関係を育てていく上で、とても効果的な機会となります。

ただ、私たちとしては、新型コロナウイルスの感染状況において、0か100（中止か実施）ではなく、その学校行事の内容が大きく変更とならなければいけないと考えています。

新型コロナウイルス感染防止対策を図り、様々なリスクを回避し、子どもたちを守ることに、そして、新しい生活様式の中、安全・安心・安定した学校づくりに努めていくことが大前提となります。その上で、子どもたちにどんな力を身に付けるために行う学校行事や学習活動なのか、その目的の再検討し、「新たな学校行事」として次年度実施してまいります。そのロードマップが、年間を見通した「学校行事予定」です。お子さまの「1年間の学びのストーリー」を綴ってみました。保護者の皆様と、本校の願いや思いを共有できれば幸いです。（別紙にて、「令和3年度学校行事予定」（暫定版）を配付しています）

すべての子どもたちの安全・安心・安定した学校生活に向け、保護者の皆様のご理解とご協力、ご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

1 新しい学校生活様式(ニューノーマル)の視点について

(感染リスクを極力減らすことを前提としたうえで)

1. その学校行事は、**目的(ねらい)**と**内容が合致**している。
2. その学校行事は、子どもたちが**成長したこと(力や態度)**が**確認できる機会**となっている。
3. 感染状況によって、その学校行事の**内容が大きく変更**とならない。



2 七小の新たな一年の“物語”…ストーリー

配付した年間行事予定とともにお読みください



4月 出会いのとき。新しい先生、新しい教室、新しい友達、新しい学習…。1年のスタートにあたって学習や学校生活で必要なことを学校でじっくりと学びます。担任と保護者の方々との出会い、個人懇談会もあります。不規則な時間割編成ではなく、全学年ほぼ4時間授業とし、朝→学校→放課後という生活リズムの定着と、午後に生み出される放課後の時間を、人間関係を広げる大切な時間にしてほしいと思います。入学おめでとうプロジェクトも1年生と該当学年で実施されます。

5月 GW明け、午後の授業も本格化。身に付けたことを授業や学校生活で全員が発揮していきます。初めての授業参観もあります。新しい先生、教室、仲間と生き生きと学ぶ姿を保護者の方に見ていただきます。いつも寒空の中での春の遠足。桜の風景はありませんが、1～4年生の皆さんはきっとあたたかな陽射しのもとで、仲間とともに学級で、学年ですてきな1日を過ごします。集団登校も1ヶ月あまり行い、5月最終日に終え、6月より個人登校へ。この2ヶ月で、一人一人が、一人一人の歩幅でしっかりと歩みを進め、新しい環境、そして新しい友達、仲間慣れるなど、進級した新たなフィールドを整える、人間関係を広げる時間にしてほしいと思います。



6月 いつもなら大運動会。新たな生活様式の中で2学年合同の運動会プロジェクトを開催します。たくさん的人はいないけど、自分たちでつくる運動会。ともに教え合い、励まし合い、やり遂げる運動会。自分たちの頑張りやギョッとつまった運動会。広いグラウンドいっぱい子どもたちの真剣な姿。これまで身に付けてきた資質・能力、学級・学年としての団結力、集中力を思いっきり発揮します。

7月 学びのまとめ。授業参観があります。春からの第1ステージ。友達とよりよい学級をつくろうと考え、行動してきた1学期。一人一人、様々な機会を通して、日々の学校生活と授業を通して、「協力」する大切さを実感し、25日間の夏休みへと入ります。

8月 最近の残暑は北海道でも強烈です。8月いっぱい全学年4時間授業とし、心と体をしっかりと整える時間を設定します。夏からの第2ステージ。「チャレンジ」自分を成長させるために必要なことを考え、失敗を恐れずに挑戦し続けるステージが始まります。



9月 全学年が校外に学びの場を広げる1か月。1～4年生は校外学習で北斗市や函館市へ。5年生は自主研修で函館西部地区へ。6年生は青森県へ修学旅行に行きます。1年の中で1日、2日はとても短い時間ですが、仲間とともに学ぶ時間は格別。新たな発見や興味関心を深める時間。そして、友達との仲を深める時間に。それがなりたい自分になるためにつながります。先生と、友達と、自分たちでよりよい学級、学年を創り出す活動が展開されます。

10月 5年生のネイパル森での校外研修。9月の西部地区の自主研修の学びを、大自然の中で行う様々なプログラムの中で発揮しながら、自らの成長を確かめる時間になります。下旬に前期通知表「あゆみ」配付、そして、土曜参観日。挑戦し続ける一人一人の子どもたちの姿、学級・学年の姿に、きっと成長を感じることを思います。

11月 なりたい自分になるために粘り強く努力し、学級・学年で努力の成果を認め合う、第3ステージ。キーワードは「パワーアップ」。自分自身はもちろん、よりよい学級・学年の成長につなげる時。11月は学年学習発表会プロジェクトで、これまでの8か月間の学びと成長を、自分たちでつくるステージで発揮します。



12月 一人一人の学校での頑張りや保護者の皆様にお伝えする個人懇談会があります。学級や学年でも4月からの成長を認め合うとともに、さらなるパワーアップを目指して全員で力を確かめ合い、高め合い、25日間の冬休みへと続きます。

1月 寒さに慣れることとともに、生活リズムを整えるために1週間4時間授業を設定します。「1年の計は元旦にあり」今年一年のなりたい自分への目標を学級・学年で確かめ合います。

2月 漢字検定、そして新しい1年生との出会い、体験入学（入学説明会）が実施されます。そして、最終の第4ステージ。「ありがとう」自分の成長には多くの人に支えられていることに気づき、感謝の気持ちを様々な形で表現していきます。2月はそのための準備の時間。多くの学年でプロジェクト活動を実施します。



3月 別れの時。6年生卒業おめでとうプロジェクトが上旬に行われます。自分たちの心と声でしっかりと6年生への感謝とエールを伝えること。それは自分たちの進級にもつながる大切なこと。一人では生きていけない。たくさんの人に支えられているんだって気づいたとき、やっぱり自分から「ありがとう」って言える人間になってほしい。感謝はどこにいても一番大切な気持ち。新しい環境で成長し続けた子どもたち。一年の終わりを迎え、そして2022年4月。また新たな1年が始まります。

3 次年度以降の運動会の方向性について

【例】新たな学校行事様式で実施している学校（札幌市）のようす

- 保護者等の参観の人数を限定（1世帯2人までなど）。
- 小学校なら、低（1・2年生）、中（3・4年生）、高（5・6年生）などと分けて、3部構成や2部構成で、児童も保護者も完全入れ替え制で、密を避けるかたちで実施。
- 児童が接触することが多い競技はやめて、ダンスなど表現活動に変更。

◆ 運動会のねらい ◆

- (1)【自分】自分の目標に向かって粘り強く最後までやり切ろうとする力を高める。
- (2)【他者】仲間と関わる中で、相手の気持ちを尊重しようとする態度を身に付ける。
- (3)【協働】運動会プロジェクト活動や種目に主体的・協働的に参加し、集団でやり抜こうとする意識と実践力を高める。



【運動会】・・・日常の学習の成果を総合的に発表する場（成長が確認できる場）

<前提：密集・密接を避ける＝運動会での感染リスクを極力減らす>

【本校の実情】（次年度） 全校児童：501名 保護者：392世帯

1年：71名 2年：90名 3年：73名 4年：85名 5年：83名 6年：99名

1 会場様式

- (1) 児童席：（これまでの場所の）2倍確保する必要がある（間隔の確保：1m以上＝一人分以上）
- (2) 保護者席：（児童席増加により）1/2程度に大幅に減少される＝地域ごとの振り分けも難しい
- (3) 保護者観覧者数：全学年一斉開催→最低392名 保護者2名→784名以上
距離を保持した中での指定場所の設定は難しい＝昼食も厳しい
- (4) 児童集合場所の確保のため、さらに会場確保が求められる

会場、児童座席の確保 ↓ 保護者の観覧者数の制限

2 開催様式

(1) 6月を運動会プロジェクト実施月間として、新たな運動会様式で実施

(2) 感染防止対策の徹底（特に、密接・密集回避＝飛沫感染リスクの回避）

- ★開催方法 ⇒ 分散開催（1・2年：161名、3・4年：158名、5・6年：182名）
⇒ 時間短縮（平日午前開催：児童の負担及び熱中症リスク…長時間は避ける）
⇒ 種目制限

★ 昼食 ⇒ 給食（運動会実施学年以外は教室で「授業」）

★観覧場所 ⇒ 保護者観覧場所（自由席：場所取りなし）の設置 ※地域ごとの観覧場所は廃止

★観覧可能 ⇒ 該当学年保護者のみ

※保護者観覧のため、土日開催だとご家庭における兄弟姉妹の安全確保が困難。

※昼食の準備、食事場所が課題…飛沫感染、密集回避は開催における大前提。

★ 運営 ⇒ 子どもたちが主体となった実行委員会(PJ)等の設定。

自分たちで創る「新たな運動会様式」へ。

★PTA種目、幼児競技 ⇒ 実施しない

★地域リレー⇒ 新たな運動会様式では実施は難しい。

※今後、児童数の減少が想定されるため、当該学年での選出が困難。選出方法の複雑化。

教育活動として実施＝全児童が目標に向かう取組とする必要がある。したがって、今後の開催は地域子ども会が主催（主体）とした“大会”などへ移管することが望ましい。

★その他 ⇒ ①保護者（同居人含む）が感染者・濃厚接触者となるケースが出てきていることから、保護者との接触を減らすとともに、実施・計画する時は、参観・参加の在り方を検討し、保護者の健康観察等（2週間程度）を実施予定。

②保護者参観の人数については今後検討。

③児童と保護者との動線の重なりをなくす。（トイレも別）

④参観場所での密接を避けるため、児童の演技・競技ごとに交代するなど、皆様が見られるように、譲り合い、お互いが配慮し合う。

⑤感染状況によっては、保護者の参観をご遠慮いただき、児童のみの開催となる場合もある。

4 次年度の「集団登校」について

これまで七重小学校では、地域子ども会ごとに指定された時刻までに集合場所に集まり、そこで整列をし、集団で隊列を組んで登校する「集団登校」を実施してきました。

しかし、令和2（2020）年度は、分散登校の実施のため、全校児童がそれぞれ分散して登校する「個人登校」としてきました。

令和3（2021）年度では、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行いながら、**4月6日（火）（※新1年生は4月7日（水）より）から登校を「集団登校」として実施**いたします。

通年通しての「集団登校」ではなく、新たな学期の始まりの1か月あまりを目安に「集団登校」、その後、集団登校で身に付けた交通安全等の知識や能力を一人一人確かめたり、発揮したりする機会として「個人登校」を設定いたします。



（詳しくは、以下の表にてご確認ください）

なお、お子さまの班編成や集団登校班の「集合時刻」や集合場所につきましては、これから地域ごとにおこなう「地域子ども会会議」にて確認します。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

	集団登校	個人登校
1学期	1年生 4月7日（水）～5月31日（月） 2～6年生 4月6日（火）～5月31日（月）	全学年 6月1日（火）～7月21日（水）
2学期	全学年 8月16日（月）～9月24日（金）	全学年 9月27日（月）～12月24日（金）
3学期		全学年 1月19日（水）～3月24日（木）

5 七小の新たな一年の“物語”…主な行事

既存の「集会活動」や「行事」等 ⇒ 「異学年交流」へ（つくりなおし）

コロナ禍の今、そしてこれから「集会活動」の実施そのものが難しいのが現状です。単独学年、または2学年程度が限度と考えます。これからは感染症対策を十分に徹底したうえで、「相手意識」をしっかりと捉えた中で計画、実施していきます。したがって、「集会活動」＝「異学年交流」の場としてつくり直していきます。

	これまで	これから	備考
4月	1年生を迎える会	入学おめでとうプロジェクト	◆1年生と該当学年での実施 ※オンラインも可能
5月	春の遠足（1～5年）	春の遠足（1～4年）	5月中旬に実施
6月	運動会（全学年）	運動会プロジェクト （ブロック開催）	1・2年生、3・4年生、5・6年生の「ブロック」で「平日」「2時間程度」 ※進行は上位学年又は教員が行う
8月	自主研修（5年）	自主研修プロジェクト（5年）	函館西部地区ウォークラリー ◆5年生⇄4年生へ
9月	修学旅行（6年）	修学旅行プロジェクト（6年）	実施時期変更、宿泊地変更 ◆6年生⇄5年生へ
	校外学習（1～4年）	校外学習プロジェクト （1～4年）	函館市や北斗市近郊へ ◆1～4年生⇄各学年へ
10月	宿泊研修（5年）	校外学習プロジェクト（5年）	1日日程（日帰り）または2日日程（宿泊） ◆5年生⇄4年生へ
11月	学習発表会	学年学習発表会プロジェクト （全学年）	単独開催（平日）20～30分
		学習発表会交流プロジェクト （全学年）	学校行事の時数1or2配分 ◆1～6年生⇄各学年へ
2月	6年生を送る会	卒業おめでとうプロジェクト （全学年）	6年生と該当学年での実施 ※オンラインも可能

※1 上記以外にも各学年においてプロジェクト(PJ)活動を展開

※2 随時 生活・総合で交流プロジェクトを実施（1・2年生、3～6年生）

※3 始業式、終業式(修了式)は、基本的にオンライン（zoomまたはGoogle Meet）で実施